

上田市ゼロカーボン推進アドバイザーである中島さんに2050ゼロカーボンシティの実現に向けてお話を聞きました。

これから5年間の取組が鍵になります できることから始めましょう

どうすればゼロカーボンが実現しますか。

市民・事業者・行政の皆さんが一丸となり、今すぐにでも対策に取り組むことが鍵です。二酸化炭素削減の対策は、将来を見据え、経済の活性化と豊かな暮らしづくりを同時に実現できるものが大事です。例えば、住宅の断熱化や再生可能エネルギー(再エネ)の導入で、快適な家づくりとなり、多くの人たちが健康的な生活を送ることができるようになります。

2050年にゼロカーボンが実現すると、未来はどうなっていますか。

建築物の断熱や省エネ、太陽光発電など再エネの普及が

進み、夏は涼しく、冬は温かく、そして光熱費負担の少ない住宅で快適な暮らしが実現できます。

例えば、暴風雨などで停電が生じた場合には、太陽光発電や蓄電池の活用により電気のある生活を継続することができます。また、夏の暑さに耐えることのできる農作物の栽培に品種を変えることで、引き続き、安全安心のおいしい農作物を食べることが出来ます。

2050年にゼロカーボンが実現しないと、未来はどうなっていますか。

巨大な台風の上陸や突発的な豪雨の頻度が増え、土砂災害や洪水などの災害が頻発する可能性が高いです。それに伴い、多くの人命が奪われたり、工場の操業をストップさせ



中島 恵理氏 (上田市ゼロカーボン推進アドバイザー)

- 主な経歴
・元長野県副知事
・元環境省 脱炭素化イノベーション研究調査室長

ざるを得ないなど被害は甚大です。建築物の断熱化が進まない状況では、多くの方が熱中症やヒートショックなどの健康被害を受ける可能性があります。そのほかには、農作物の栽培が難しく食糧危機に陥ったり、松枯れがさらに広がり、森の荒廃が進むことが考えられます。

私たちが始めに取り組めることは何でしょうか。

日頃の生活の中で、ゼロカーボンと豊かな暮らしを実現するための選択をすることです。

例えば、農産物の地産地消、短い距離は自転車や徒歩で移動、再エネ由来の電気の購入などです。また、自宅の断熱改修、地域材を活用した建築、太陽光

今後、上田市に期待することとは何でしょうか。
若者を含む多世代の市民と行政が、上田市の未来像について共有することです。そして、ゼロカーボンシティうえだの実現に向けて具体的なアクションを市民・事業者・行政が一緒になって検討し、それぞれの立場と協働で実践することを期待します。

市民や事業所の取組を促すとともに、その取組が継続できるように支援策があると思います。

例えば、補助金や初期投資ゼロで省エネや再エネ導入ができるような仕組みづくりが必要だと思えます。

6月は環境月間です

CO2の排出量削減に貢献する製品への買い替えなど、地球温暖化対策のためにできる「賢い選択」(COOL CHOICE)を推進しています。ゼロカーボンに向けて家庭や職場でできる省エネ行動は4ページ、市の補助金は5ページで紹介しておりますのでご覧ください。



知っておきたいキーワード

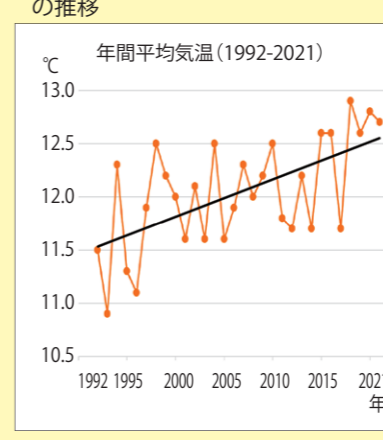
再生可能エネルギー(再エネ)
二酸化炭素を排出せず、資源が枯渇することなく、繰り返し使うことができるエネルギーのこと。太陽光、水力、風力、地熱などがあります。

断熱
住宅の中と外気の熱の出入りをさげること。住宅を断熱すると、夏は涼しく、冬は暖かい家になります。冷暖房などの使用量が減って、地球温暖化対策になります。

■地球温暖化による影響(一部抜粋)



■上田市の過去30年の年間平均気温の推移



地球全体の平均気温が上昇していくことを「地球温暖化」といいます。地球温暖化は、気温を上昇させるだけでなく、地球全体の気候を大きく変える「気候変動」を引き起こします。日本だけではなく世界各地で、「数十年に1回の豪雨や災害級の猛暑」がここ数年で頻発し、今や気候危機ともいふべき状況です。上田市においても、過去30年間の平均気温は上昇傾向にあります(左グラフ)。この気候危機を打開するためのキーワードが「2050ゼロカーボン」です。

ゼロカーボンシティうえだ

上田市は2050年までにゼロカーボンシティ(二酸化炭素排出量実質ゼロ)の実現を目指します

生活環境課 ☎71・6428



Q 地球温暖化の原因は?

A 大気中の温室効果ガスが増え続けていることが大きな原因です。温室効果ガスの約90%を二酸化炭素が占めています。地球温暖化を防止するには、二酸化炭素の排出量を減らす必要があります。

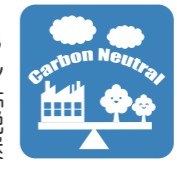
Q 二酸化炭素はどこから出るの?

A ものを燃やすと二酸化炭素が出ます。化石燃料由来の電力や自動車のガソリンの消費によって排出されます。

※石油、石炭、天然ガスなどの火力発電でつくられる電力のこと。

Q ゼロカーボンってなに?

A 二酸化炭素の排出量から森林などによる吸収量を差し引いて全体の排出量をプラスマイナス0にすることです。「カーボンニュートラル」「脱炭素」とも言います。



Q なぜゼロカーボンを進めるの?

A このまま地球温暖化が進むと、生態系や食料生産などへの悪影響や自然災害の激甚化などが予測されるためです。未来のために一人ひとりの行動が大事になります。

未来のために今できることにご協力ください

2050年ゼロカーボンシティうえだを実現し安心して暮らせる社会をつくるためには、皆さんのご協力が必要不可欠です。家庭や企業で冷暖房、照明などの省エネを徹底する、太陽光などの再生可能エネルギー由来の電力を使用するなどの今できることにご協力ください。

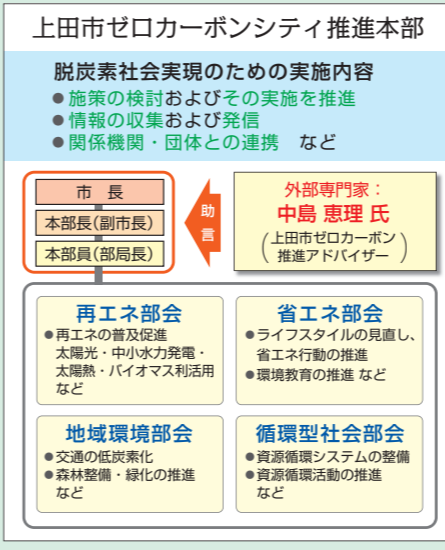
市の3つの取組

①気候非常事態宣言を表明(2021年2月19日)
市は、気候変動に対する危機感を皆さんと共有し、共に地球温暖化対策に取り組むため、「上田市気候非常事態宣言」(光・緑・人の力で目指す2050ゼロカーボンシティうえだ)を表明しました。



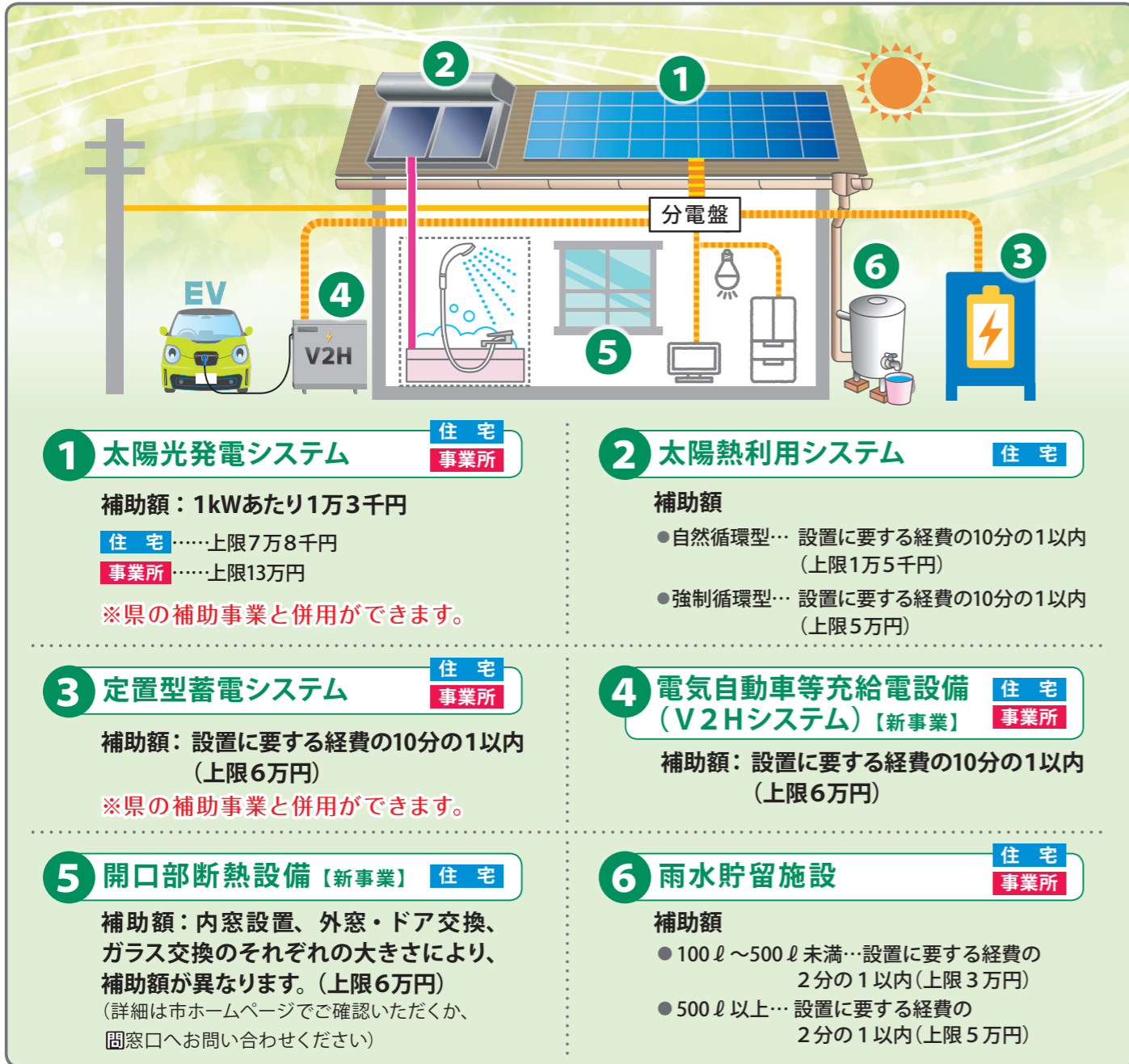
②上田市地球温暖化対策地域推進計画を策定(2021年3月)
本計画では、上田市全域の二酸化炭素排出削減目標を設定し、皆さんと共に取り組む対策の基本方針を定めました。市は基本方針に基づき、2050年までにゼロカーボンシティの実現を目指し、地域特性を活かした再生可能エネルギーの活用や徹底した省エネルギー対策などを推進していきます。

③市に推進本部を設置(2021年11月11日)
地域のあらゆる資源を最大限活用し、地域の脱炭素と地域課題の解決、地方創生に資する総合的施策を市役所全庁体制で推進、加速化させるため、「上田市ゼロカーボンシティ推進本部」を設置しました。



2050ゼロカーボンに向けた市の支援パッケージ ～補助金制度をご紹介します～

市内の住宅と事業所の対象者に補助金を交付しています



1 太陽光発電システム 住宅 事業所

補助額：1kWあたり1万3千円
住宅……上限7万8千円
事業所……上限13万円
※県の補助事業と併用ができます。

2 太陽熱利用システム 住宅

補助額
●自然循環型…設置に要する経費の10分の1以内(上限1万5千円)
●強制循環型…設置に要する経費の10分の1以内(上限5万円)

3 定置型蓄電システム 住宅 事業所

補助額：設置に要する経費の10分の1以内(上限6万円)
※県の補助事業と併用ができます。

4 電気自動車等充電設備(V2Hシステム)【新事業】 住宅 事業所

補助額：設置に要する経費の10分の1以内(上限6万円)

5 開口部断熱設備【新事業】 住宅

補助額：内窓設置、外窓・ドア交換、ガラス交換のそれぞれの大きさにより、補助額が異なります。(上限6万円)
(詳細は市ホームページでご確認いただくか、窓窓口へお問い合わせください)

6 雨水貯留施設 住宅 事業所

補助額
●100ℓ～500ℓ未満…設置に要する経費の2分の1以内(上限3万円)
●500ℓ以上…設置に要する経費の2分の1以内(上限5万円)



交付対象者…住宅と事業所で対象者の要件が異なります。詳細は市ホームページでご確認いただくか、窓窓口へお問い合わせください。

手続きの流れ…対象設備の着工前に窓補助金交付申請をしてください。申請書は窓窓口、市ホームページにあります。申請は、窓窓口または郵送で受け付けています。郵送の場合：〒386-8601(住所不要) 生活環境課 環境政策担当宛

お問い合わせ先…窓生活環境課(市役所本庁舎2階) ☎71・6428 ☎22・4127
✉seikan@city.ueda.nagano.jp



着工日と実績報告書の注意点

- 着工日……対象設備工事は補助金の交付決定日以降に着工してください。
※事前の着工は補助金の対象外です。
- 実績報告書…次のいずれか早い日までに提出
・補助事業完了日から1か月以内 ・年度末(3月31日)
※年度をまたぐ提出は補助金の支払いができませんので、ご注意ください。

環境とお財布にやさしい 省エネライフをスタートしませんか

誰でもすぐにご覧いただける
Let's 省エネ

CO₂(二酸化炭素)の排出を減らすために、身近なところでできることがたくさんあります
エネルギー消費量の多い照明や冷房などの機器について、省エネ行動をしませんか

POINT 省エネってなに?
省エネとは、「省エネルギー」の略。石油や石炭、天然ガスなど、限りあるエネルギー資源がなくなるように、エネルギーを効率よく使うことをいいます。

CO₂ 1kgってどれくらい?
500mlペットボトル約1,000本分の体積に相当します。

家庭や会社でできる省エネ行動

照明器具

電球型LEDランプに取り替える
54Wの白熱電球から9Wの電球型LEDランプに交換(年間2,000時間使用)

LED 白熱灯

年間CO₂削減量 43.9kg
約2,430円の節約!

電気冷蔵庫

ものを詰め込みすぎない
詰め込んだ場合と、半分にした場合との比較

年間CO₂削減量 21.4kg
約1,180円の節約!

エアコン

夏の冷房時の室温は28℃を目安に
(体調に考慮して設定してください)
外気温度31℃のとき、エアコン(2.2kW)の冷房設定温度を27℃から28℃にした場合(使用時間9時間/日)

28℃

年間CO₂削減量 14.8kg
約820円の節約!

テレビ

テレビ画面の明るさを下げる
テレビ(液晶32V型)の画面の輝度を最適(最大→中間)にした場合

年間CO₂削減量 13.2kg
約730円の節約!

自動車

ふんわりアクセル「eスタート」
5秒間で20km/h程度に加速した場合

年間CO₂削減量 194.0kg
約11,950円の節約!

温水洗浄便座

使わないときはフタを閉める
フタを閉めた場合と、開けっ放しの場合との比較(貯湯式)

年間CO₂削減量 17.0kg
約940円の節約!

その他の省エネ行動・効果の算出などは、経済産業省のホームページをご覧ください。



県の2つの事業を紹介します ※市の補助金と併用ができます。

①グループパワーチョイス(共同購入)

太陽光パネル・蓄電池を県民みなさんでおトクに購入する共同購入の参加者を募集しています。この機会におトクに購入しませんか?

詳細はこちら

登録は8/31(水)まで

ながの みんなのおうちに太陽光 検索

②既存住宅エネルギー自立化補助金

自宅に蓄電池を設置し、太陽光パネルと組み合わせる「エネルギー自立」を目指す方を支援します。

設置内容	補助額
太陽光パネル+蓄電池	20万円
蓄電池のみ(太陽光パネル設置済みの方)	15万円

※「信州の屋根ソーラー認定事業者」と契約して設置することが必要。①との併用不可。